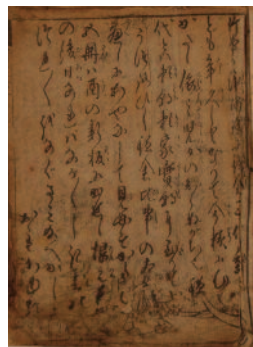
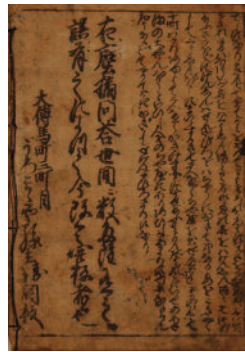
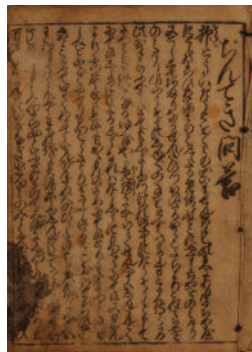


- 160 繪本三國志 第貳輯・第五編 鈍亭魯文著 安政六年序 中2冊 20,000
=内題「拔翠三國志」 芳宗画 兩冊とも末尾欠丁手擦れ傷み
- 161 大日本 萬物歳時記 摺外題 尾陽／雷山老人原稿 無刊記 中1冊 25,000
=東都／野嵯魯文校合 江戸湯島妻戀麓／種玉堂藏梓 假名垣魯文の出版

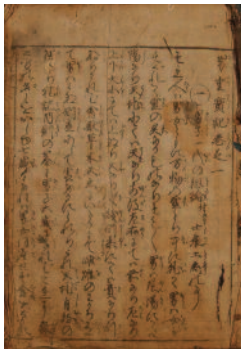


162 ぢんてき問答 表裏紙欠 古板 無刊記 元禄以前刊
=大傳馬町三町目／うろこかたや孫兵衛開板

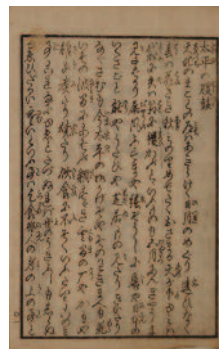
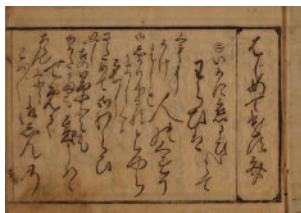
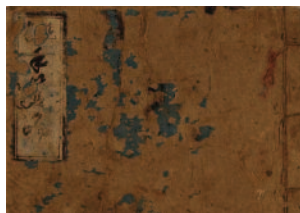
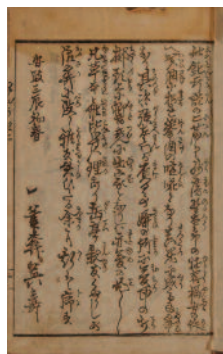
中1冊 30,000

163 黒本北条九代カ 初編 柱題「北条九代」表紙欠 裏紙存 手擦れ

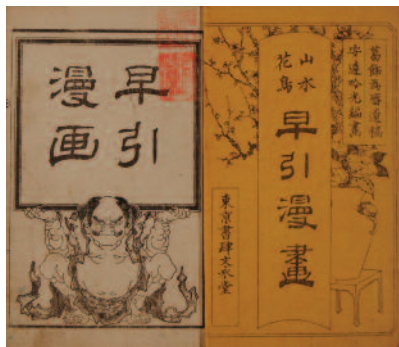
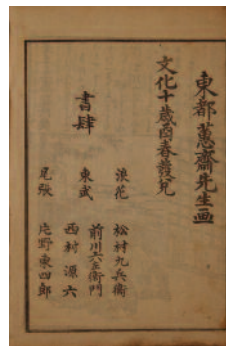
中1冊 15,000



- 164 題不詳哥鷹風繪本 中巻 原装 手擦れ 七丁 刊年不明 半1冊 20,000
 165 男重寶記 5巻 合本 虫多1丁破れ 艸田子三徑 元禄刊 半1冊 品切れ
 =上段に松永貞徳を宗匠とする貞門、下段に西山宗因を宗匠とする談林派を示した
 有名な挿繪がある。→

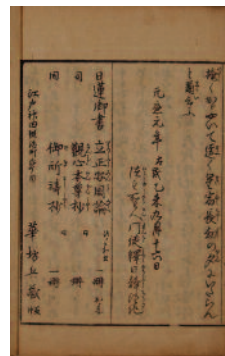
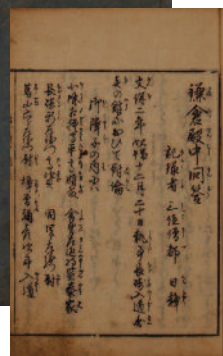
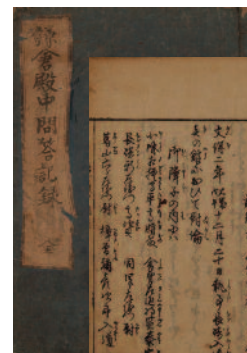
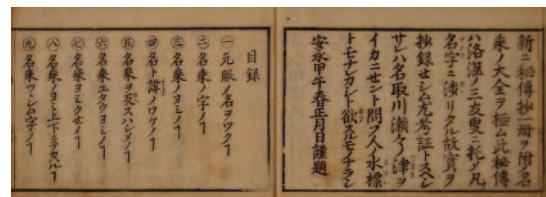
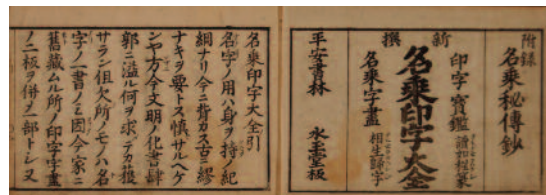
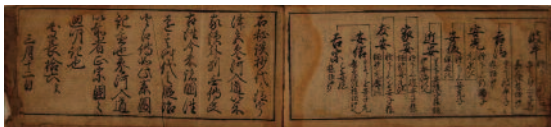
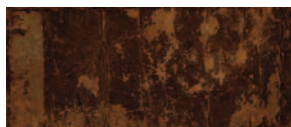
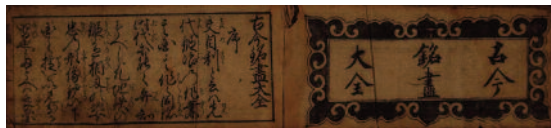


- | | | | |
|-----|-----------------------------|------|--------|
| 166 | 滑稽鈍癡奇論 卷二 籤欠 染み 岳亭主人戯編 安政三序 | 中1册 | 5,000 |
| | =一筆葦英壽序及画 | | |
| 167 | 心學浮世目鏡 籤欠 數丁欠破れ 万亭應賀著 無刊記 | 中1册 | 5,000 |
| | =溪齋英泉画 山靜堂 墨つき | | |
| 168 | 艷書 手□□ 籤擦れ 無刊記 化成頃刊 | 小横1册 | 15,000 |
| 169 | 心掃除 太平之腹鼓 摺外題 東都/泉永堂 江戸末刊 | 中1册 | 2,500 |



- 170 繪本孝經 上下巻 籤 東都蕙齋先生画 文化 10 春刊 半2冊 品切れ
 171 山水花鳥 早引漫画 籤欠 葛飾爲齋遺稿 吟光編画 明治 中1冊 品切れ
 172 新訂 漢画指南 3輯各乾坤 籤 大川錠吉出版 明 12 中6冊 15,000
 =函館／井澤保治著 第1集乾巻の題籤欠





173 古今銘盡大全 卷1・2 簽擦れ 數丁破れ 慶長16年刊 四つ切2冊 10,000

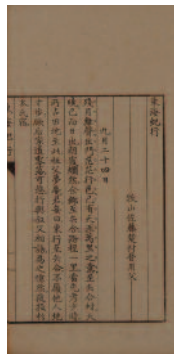
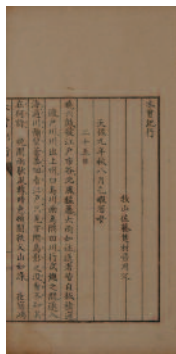
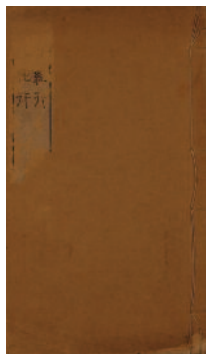
174 新撰 名乗印字大全 簽欠 三友叟謹記 安永3年春正月刊 小横1冊 5,000

175 新撰早引 諸家紋帳 簽欠 萩原秋艸輯 嘉永2年刊 中1冊 10,000
=歌川保藏圖工

176 鎌倉殿中問答記録 簽 日靜記 華坊兵藏版 無刊 江戸末 半1冊 10,000



- 177 辨天利生 建久女簪討 卷上 簽柿澁塗 文化6年刊 半1冊 5,000
 =式亭三馬悦序 與鳳亭梧井編 盈齋北岱画圖 手摺れ裏打
- 178 一休譚後編 繪本うす紫 卷4 簽 是水叟菊亮 文政刊 半1冊 5,000
 =速水春曉齋画
- 179 釋教玉林和歌集 簽 淨林坊辨惠編 明15 極小1冊 3,500



- 180 木曾紀行・東海紀行 簽半剥落 牧山佐藤楚材普用父 明 27 半1冊 8,000
 =著作相續人兼發行者／山形市／佐藤雲韶 名古屋／靜觀堂
- 181 増補再板 鎌倉武鑑 初編下卷 簽 永樂屋・蔦重 文政2 中1冊 5,000
- 182 源氏五十四帖 小倉百人一首 簽 關草雄編 卷菱潭 明 13 半1冊 品切れ

倭名類聚鈔卷第六

源順撰

山城國第六十八 大和國第六十九

河內國第七十 和泉國第七十一

攝津國第七十二 伊賀國第七十三

伊勢國第七十四 志摩國第七十五

尾張國第七十六 參河國第七十七

遠江國第七十八 駿河國第七十九

伊豆國第八十 甲斐國第八十一

相模國第八十二 武藏國第八十三

倭名類聚鈔卷第一 源順撰

天部第一 地部第二 水部第三

天部第一 景宿類第一 雲雨類第三

景宿類第一 風雪類第三

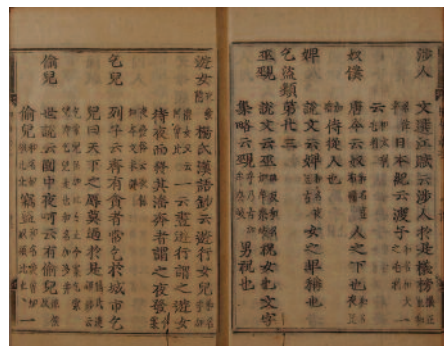
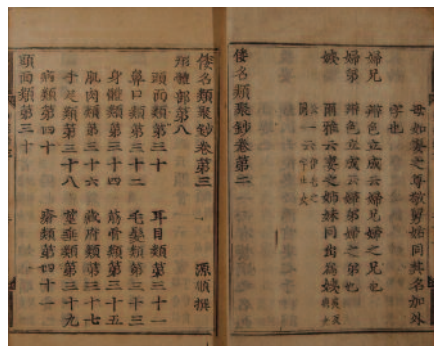
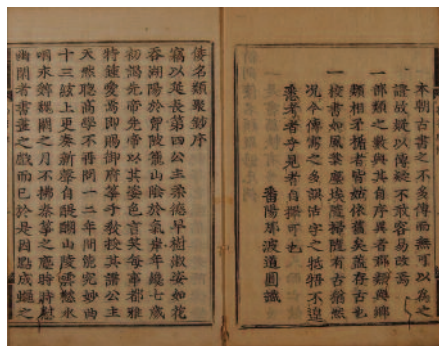
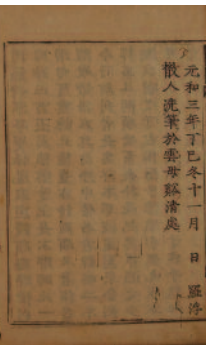
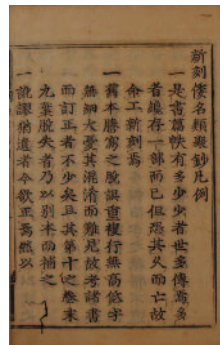
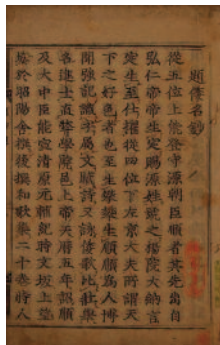
景宿類第一 造天地經云佛令寶應菩薩造日

陽鳥 歷天記云日中有三足鳥赤色

案文選謂之陽鳥日本紀謂之頭

陽鳥

案文選謂之陽鳥日本紀謂之頭



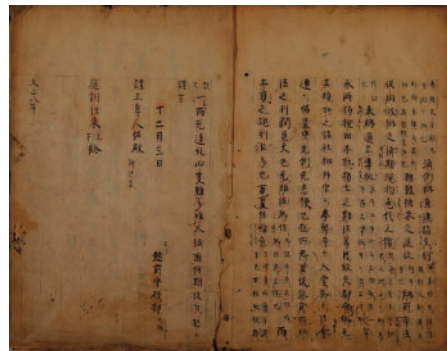
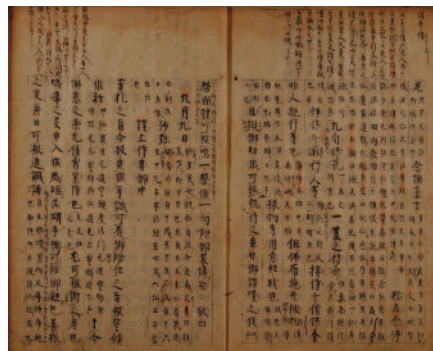
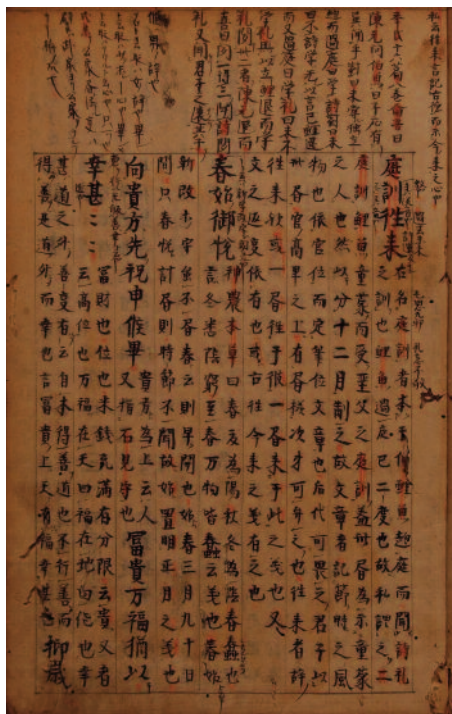
183 倭名類聚鈔

古活字版 元和三年刊

極大1冊 品切れ

=源順撰 番陽那波道圓校刻 卷1～卷6 (全20卷ノ内) 合本 元和三年冬十一月〇日／林羅山序

平安時代中期に成立され吾國の國語字書の嚆矢として名高い倭名類聚鈔の最初の版本。古活字版としては唯一この一種のみが出版されたと云う。活字は藤原惺窩門で羅山と並び惺窩門四天王の一人、那波道圓(號、活所)の製作とされる。活字は大振り、形整い、彫り良く、墨色は濃く、料紙精善、書物の格調の高さに於て、勅版・嵯峨本・伏見版等と並べて遜色のないものとされ古來より評價が高い。「殘花書屋」他朱印(戸川殘花舊藏本)。末尾に「月明／莊」朱印。「弘文莊待賈古書目」第24號(昭和29年)掲載本。本の大きさ29×20cm。歟本ではあるが非常に保存状態の良い上本。表紙は改装とおもわれるがほぼ同時代の栗皮色表紙を備えおそらくは50餘年以上の歳月を経ている古改装である。



184 庭訓往來鈔

天正八年寫

極大1冊 品切れ

=南北朝末期から室町中期に成立された初等教科書の一つとして、また吾國教育史上に多大な影響を持つ古典たる庭訓往來の最古の註釋書なる『庭訓往來鈔』の古寫本。九行の薄い墨界を引き、往來の本文を一行に、註を二行に書き、その註は漢文なる事が此の鈔の特徴とされる。「夫倭國之風俗天地開始於天浮橋」云々の語句にはじまる序二丁があるが、その前に同筆で二行書きの一丁が存在するので第四丁表より本文に入る。文中朱線朱點を加える外、上欄及び行間に同筆の書き入れが頗る多い。本の大きさ縦27.5糎。横19.0糎。紙數65葉。首尾に享保六・七年の墨書がある。表紙は原裝と思われるが裏表紙の喉部下方に破損があり切れた綴糸もそのままに傳來のままの未補修とした。